6 各科目シラバス

<table>
<tr><td>科目選択コード</td><td>601100101</td><td>科目名</td><td>現代の国語</td><td>単位数</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td>履修年次</td><td>1年次</td><td>設置系列</td><td>人文科学</td><td>履修条件</td><td>必履修</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用教材</td><td>教科書</td><td colspan="4">現代の国語（東京書籍）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="4">ビジュアルカラー国語便覧改訂版（大修館），評論ウィニングクリア1演習問題集（尚文出版），
ライトパーフェクト演習問題集（尚文出版）</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="5">実社会に必要な国語の知識や技能、論理的に思考し表現する力、言葉をとおして社会に関わろうとする態度を身に付ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選択条件</td><td colspan="5">必履修科目です。全員が履修します。</td></tr>
<tr><td colspan="5">【補足】</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td colspan="5">①現代文・・・評論・随筆
②自己表現・・プレゼンテーション・レポート</td></tr>
<tr><td>学習方法</td><td colspan="5">①文章を読んでいくうえで、分からない言葉や表現については辞書を引いて調べる。
②教科書の文章だけでなく、同じ筆者の他の文章を読んだり、同じテーマの他の文章を積極的に読み、物事を深く考えることに慣れていく。
③発表やレポート作成に積極的に取り組む。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の観点</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="3">漢字や語句の意味、文章の効果的な組立て方や接続の仕方を理解しながら、主張と論拠を的確に捉えている。また、推論の仕方について理解を深め、実際に使用している。</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="3">「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。「読むこと」において文章の内容や構成、論理の展開などを捉え、要旨や要点を把握し、書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="3">自分の意見や考えを表現するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとし、自分の考えを深め、考えが伝わるように工夫してまとめようとしている。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価方法</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="3">ノート　授業時の態度　小テスト　定期考査</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="3">レポート　定期考査</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="3">ノート　グループ活動　レポート授業時の態度</td></tr>
</table>

6 各科目シラバス

科目選択コード	601110101	科目名	言語文化	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列	人文科学	履修条件	必履修
使用教材	教科書	新　言語文化（三省堂）			
	副教材	ビジュアルカラー国語便覧改訂版（大修館）,読み解く古典1（浜島書店）			
到達目標	我が国の言語文化に特徴的な、豊かな語彙を身につけ、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨く。我国特有の表現について、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。				
選択条件	必履修科目です。全員が履修します。				
	【補足】				
授業内容	「読むこと」、「話す・聞くこと」、「書くこと」、「考えること」、「言語に関すること」など現代から古典までの物語や詩歌、随想などの分野について学習します。 古典の基礎を、専門学校や就職を目指す人は一般教養として学習します。				
学習方法	・朝の読書や新聞の活用で様々な文章に触れることで正しい表現に触れることで、語彙力や漢字力、読解力の向上に努め、自己表現力を高めます。 ・朝課外や授業を通して文章や文法を音読・読解・暗記し基礎力を身につけます。 ・ノートの取り方を工夫したり、小論文、詩歌・俳句の創作などに積極的に取り組んだりこと。				
評価の観点	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や表現を身に付けているとともに、言語文化に対する理解を深め、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。			
	思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させている。			
評価方法	知識・技能	小テスト　定期考査			
	思考・判断・表現	レポート・ノート　グループ活動　創作活動			
	主体的に学習に取り組む態度	レポート・ノート　グループ活動　創作活動　読書活動　授業時の態度			

6 各科目シラバス

科目選択コード	601120102(2年) 601120103(3年)	科目名	論理国語	単位数	2年次(2単位)・3年次(2単位)
履修年次	2・3年次 (継続)	設置系列	人文科学	履修条件	必履修
使用教材	教科書	論理国語(大修館書店)			
	副教材	2年:現代文ウイニングクリア2(尚文出版), 国語必携ライトパーフェクト演習(尚文出版) 3年:テスト式 国語常識の総演習 四訂版(啓隆社)			
到達目標	言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決める。言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につける。				
選択条件	2年次及び3年次で全員履修します。				
	【補足】				
授業内容	①漢字・語句を学び基礎的な常識を身に付けます。 ②さまざまな文章に触れ、多様な考え方を養います。 ③文章の要点や作者の考えの捉え方を学びます。 ④自分の意見発表や、人の意見を聞くことを通して、コミュニケーションの方法を学びます。				
学習方法	①文章を読んでいくうえで、分からない言葉や表現については辞書を引いて調べる。 ②教科書の文章だけでなく、同じ筆者の他の文章を読んだり、同じテーマの他の文章を積極的に読み、物事を深く考えることに慣れていく。 ③社会の問題にも関心を持つ。				
評価の観点	知識・技能	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。			
	思考・判断・表現	実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。			
	主体的に学習に取り組む態度	人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多用な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。			
評価方法	知識・技能	ノート 小論文 小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	グループ活動 レポート 小論文 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	ノート グループ活動 レポート 授業時の態度 小テスト			

6 各科目シラバス

<table>
<tr><td>科目選択コード</td><td>601130102(2年)
601130103(3年)</td><td>科目名</td><td>文学国語</td><td>単位数</td><td>2年次(2単位)・3年次(2単位)</td></tr>
<tr><td>履修年次</td><td>2・3年次
(継続)</td><td>設置系列</td><td>人文科学</td><td>履修条件</td><td>選択履修</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用教材</td><td>教科書</td><td colspan="4">文学国語(東京書籍)</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="4">ビジュアルカラー国語便覧改訂版(大修館)　読み解く古典2(浜島書店)</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="5">社会生活に必要な国語の知識を身につけ、創造的に考え、他者に自分の考えを伝える力を高め、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を身につける。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選択条件</td><td colspan="5">①2年次で選択した場合は、3年次でも継続して履修します。
②社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、言語文化に対する理解を深めたいと考える生徒。
③創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになりたい生徒。</td></tr>
<tr><td colspan="5">【補足】</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td colspan="5">①日常生活に必要な漢字・語句を身に付けます。
②さまざまな文学作品に触れ、多様な考え方を学びます。
③筆者の考えの要点をまとめる力を身につけます。
④グループ活動等により、自分の意見を発表したり、人の意見を聞いたりして、自分の考えを深めます。</td></tr>
<tr><td>学習方法</td><td colspan="5">①日常生活に必要な漢字・語句を身に付けます。
②さまざまな文学作品に触れ、多様な考え方を学びます。
③筆者の考えの要点をまとめる力を身につけます。
④グループ活動等により、自分の意見を発表したり、人の意見を聞いたりして、自分の考えを深めます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の観点</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="3">生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="3">深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に
取り組む態度</td><td colspan="3">言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしているか。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価方法</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="3">小テスト　定期考査</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="3">レポート・ノート　グループ活動　創作活動</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に
取り組む態度</td><td colspan="3">レポート・ノート　グループ活動　創作活動　読書活動　授業時の態度</td></tr>
</table>

6 各科目シラバス

<table>
<tr><td>科目選択コード</td><td>601140102(2年)
601140103(3年)</td><td>科目名</td><td>国語表現</td><td>単位数</td><td>2年次(2単位)・3年次(2単位)</td></tr>
<tr><td>履修年次</td><td>2・3年次
(継続)</td><td>設置系列</td><td>人文科学</td><td>履修条件</td><td>選択履修</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用教材</td><td>教科書</td><td colspan="4">国語表現(大修館書店)</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="5">他者とのコミュニケーション力を育成するため、実社会において必要となる、他者との多様な関わりの中で伝え合う力を育成する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選択条件</td><td colspan="5">①2年次または3年次で選択履修します。
②4年制大学進学、医療・看護系専門学校進学希望者で、入試に「小論文」が課せられている生徒。
③表現することが好きで、小論文・原稿なしスピーチ等の活動に積極的に取り組み、自己表現力をさらに高めたいと考えている生徒。</td></tr>
<tr><td colspan="5">【補足】
短大・専門学校(一般)等で「作文」がある場合でも、必ずしも選択する必要はありません。</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td colspan="5">決められた時間内で課題(作品)を仕上げ、発表します。学習内容としては、次のようなものがあります。
①小論文
②原稿なしスピーチ
③志願理由書・自己推薦文の書き方
④討論・プレゼンテーションの技術</td></tr>
<tr><td>学習方法</td><td colspan="5">「表現力」を身に付けるためには、日頃から「ネタ」を仕入れることが大切です。次のようなことに積極的に取り組む。
①新聞や新書を読み、知識を蓄える。
②語彙数を増やすためにも、分からない言葉に出会ったら、国語辞典で調べる習慣を身に付ける。
③日頃から文章を書く習慣を身につけ、添削をしてもらう。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の観点</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="3">実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="3">論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力が身についており、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、重いや考えを広げ深めている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に
取り組む態度</td><td colspan="3">言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価方法</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="3">文章要約　小テスト</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="3">ノート　グループ活動　創作活動　文章要約・小論文　読書活動</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に
取り組む態度</td><td colspan="3">ノート　グループ活動　創作活動　読書活動　授業中の態度</td></tr>
</table>

6 各科目シラバス

科目選択コード	601150102	科目名	古典探究	単位数	4単位
履修年次	2年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	高等学校古典探究古文編・漢文編（第一学習社）			
	副教材				
到達目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
選択条件	①古典を主体的に読み深めることを通して伝統と文化の基盤としての古典の重要性を理解します。自分と自分を取り巻く社会にとっての古典の意義や価値について探究したい生徒。 ②伝統的な言語文化を理解し、先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高めたい生徒。				
	【補足】				
授業内容	①古文及び漢文の両方を学習します。 ②さまざまな文学作品に触れ、多様な考え方を学びます。 ③古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解します。 ④古典作品に表れる筆者の考えの要点をまとめる力を身につけます。 ⑤グループ活動等により、自分の意見を発表したり、人の意見を聞いたりして、自分の考えを深めます。				
学習方法	①古典を読み深めるため、音読、朗読、暗唱を行う。 ②分からない文語、文法、訓読のきまり等は積極的に調べたり教師に質問したりして、語彙力及び読解力を向上させる。 ③古典作品に表れた筆者の考えを積極的にまとめる。				
評価の観点	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、伝統的な言語文化に対する理解を深めている。			
	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考え方を広げたり深めたりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値観への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみを持ち、自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			
評価方法	知識・技能	定期考査　小テスト			
	思考・判断・表現	ノート　グループ活動　小テスト　定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	ノート　グループ活動　読書活動　授業中の態度			

6 各科目シラバス

<table>
<tr><td>科目選択コード</td><td>601160103</td><td>科目名</td><td>古典精読</td><td>単位数</td><td>2単位</td></tr>
<tr><td>履修年次</td><td>3年次</td><td>設置系列</td><td>人文科学</td><td>履修条件</td><td>選択履修</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用教材</td><td>教科書</td><td colspan="4">精選古典探究（大修館書店）</td></tr>
<tr><td>副教材</td><td colspan="4">新成古典2（尚文出版）</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="5">古典作品を多く読み、古典文法や言葉を理解するとともに、古人の考えや生き方を学び、日常の生活に生かす。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選択条件</td><td colspan="5">①古文と漢文を学習します。
②2年次に「古典探究」で学習した古典をより深く学習し、大学入試に対応できるレベルを目指します。（文法・文学史・単語・古典の知識等）
③4年制大学・短大等の入試で古典が出題される人は選択します。
④2年次で「古典探究（4単位）」を選択した人は、さらに3年次で「古典精読（2単位）」を選択することが望ましい。
⑤他教科の履修の都合で、2年次に「古典探究」を選択できなかった場合は、3年次で「古典精読（2単位）」を選択することが望ましい。</td></tr>
<tr><td colspan="5">【補足】</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td colspan="5">2年次の「古典探究」で学習した授業内容を踏襲しつつ、より深く学習します。
①音読を通して美しい日本語の響きを学びます。
②日本の古典の世界の人々の風俗習慣や文化を学びます。
③中国の文化や漢文訓読の美しい響きを学びます。
④古典の文法事項や文学史の知識を学びます。
⑤様々な登場人物の生き方や考え方を学びます。
⑥大学の入試に対応できる知識を身につけます。</td></tr>
<tr><td>学習方法</td><td colspan="5">①本文をノートに書き写し、辞書や便覧を使って口語訳を行い、授業中に修正する。
②文法事項や単語のポイントを抑えて学習する。
③考査前には必ず復習を行い、内容に関する理解を深めておく。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価の観点</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="3">社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、伝統的な言語文化に対する理解を深めている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="3">論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考え方を広げたり深めたりしている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="3">言葉がもつ価値観への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみを自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">評価方法</td><td colspan="2">知識・技能</td><td colspan="3">定期考査　小テスト</td></tr>
<tr><td colspan="2">思考・判断・表現</td><td colspan="3">ノート　グループ活動　小テスト　定期考査</td></tr>
<tr><td colspan="2">主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="3">ノート　グループ活動　　読書活動　授業中の態度</td></tr>
</table>